

令和8年7月23日

第2学年の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 新倉 順治

令和8年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月23日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和8年4月23日（木）

(2) 調査対象

市内中学校第2学年

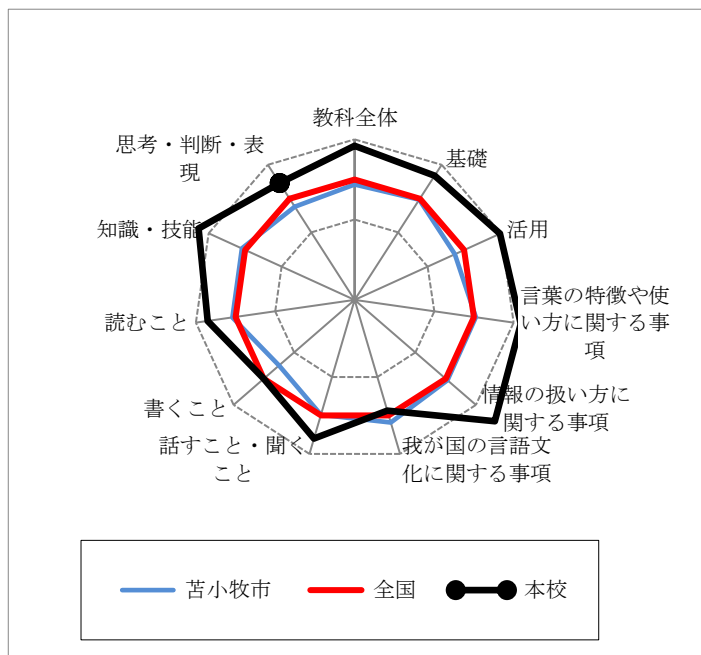
(3) 検査内容等

- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

- ① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）

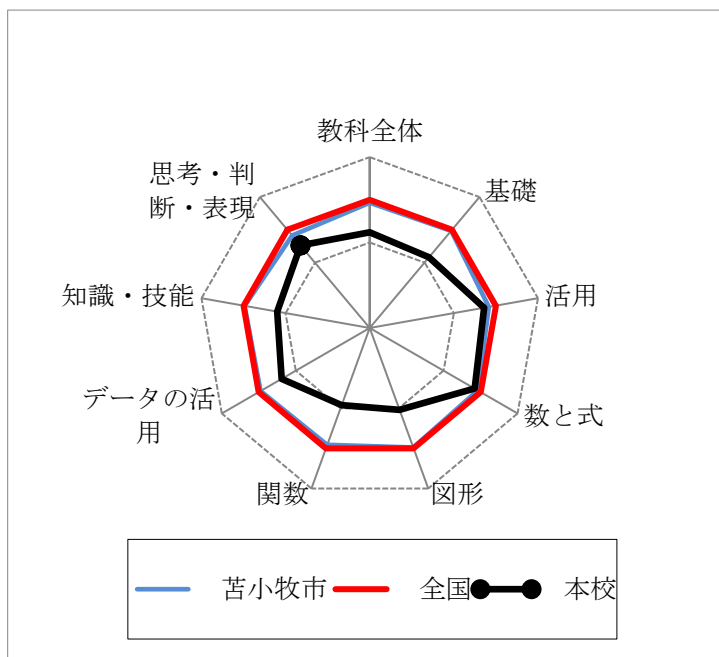


② 考察

- ◎ 教科全体としては全国平均値を上回り、良好といえます。
- ◎ 領域別に見るとおおむねどの項目も良好ですが、「書くこと」「我が国の言語文化に関する事項」に、さらに向上を目指す余地が見られます。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
(学校) 授業で「書く活動」を多く取り入れ個別指導や相互評価の場面を多く取り入れていくと共に他の教科とも連携して、日ごろから書く機会を増やします。
(家庭) 家庭学習では漢字練習や文法の復習など知識事項を定着させると共に、記述力を高めるために日常生活の中でメモをとる、記録を残すなど記述させる機会を心掛けてください。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

- ◎ 教科全体としては全国平均値に達していませんが、昨年度と比べて大幅に伸びています。
- ◎ 領域別に見ると「関数」「図形」「基礎」に課題が見られますが、「数と式」では全国平均値に近づいています。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
 - （学校）基本的な計算の力をつけることを心がけています。また、数学の用語や技法をどのように利用していくのかを丁寧に扱い、単元のまとめでしっかりと確認するよう指導しています。
 - （家庭）小学校段階の計算（加減乗除）での課題がみられます。課題を克服するために、毎日学習（1日15問程度）することが重要です。繰り返して取り組むことで学力が身に付きます。学校で購入してもらっているワークの利用方法としては、最終的に「問題を見たら解き方をイメージできること」が理想です。そのために、まず授業の復習として1回やってみて、自分が理解できているところとできていないところを確認し、できていないところを解答を見ながら再確認することです。その後、2回目として解答を見なくても自分でできるようにすること。それでも間違えることはあるので、3回目で再度確認することが必要です。まずは、質より量と考えて、数学の勉強にける時間を増やすために、できるだけ毎日取り組んでほしいと考えています。